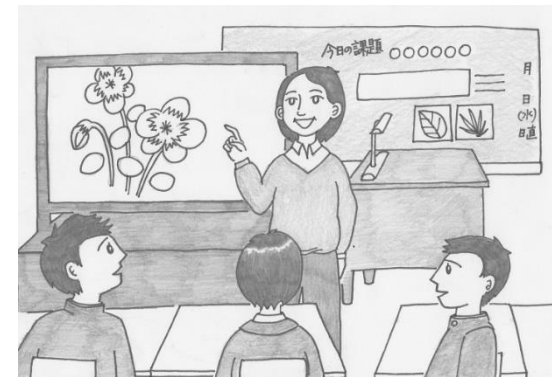


# 令和3年度 川崎市立小学校 学習状況調査報告 (概要)



## ◎ 調査の概要

### 1 調査の目的

全市的な規模で児童の学習状況を調査することにより、学習指導上の問題点及び改善点を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、児童の資質・能力の向上に役立てる。

### 2 調査の内容

#### ○国語・算数

調査の目的に基づき、学習指導要領の定める第4学年までの内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適切な項目について調査を実施した。

#### ○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

児童の学習や生活に対する意識等について明らかにするために、児童を対象とする意識調査を実施した。

### 3 調査の対象 市内全市立小学校の第5学年の児童

### 4 調査実施日及び調査対象教科・人数

(1) 調査実施日 令和3年5月11日（火）

(2) 調査対象教科・人数 小学校第5学年

国語	11,948人
算数	11,949人
生活や学習についてのアンケート	11,948人

領域等ごとの正答率（【 】内は令和2年度）

話すこと・聞くこと 78.1%【82.3%】  
 書くこと 72.4%【66.3%】  
 読むこと 72.0%【78.1%】  
 知識及び技能 77.6%【76.6%（R2は伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）】

◎ 国語調査結果の概要

1 出題・観点等一覧

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	解答形式		正答 (選択式→番号 記述式→言葉)	観点			問題の内容	領域等	出題のねらい	学習指導要領	市全体	
				選択	記述		知識・技能	思考・判断・ 表現(話すこと・ 聞くこと)	思考・判断・ 表現(書くこと)						思考・判断・ 表現(読むこと)
1	1	(1)		☆		4		◎		話の内容を聞き取る	話すこと・聞くこと	話の中心に気をつけて、発表を聞き取ることができる。	【思判表】A(1)エ	90.2	
2		(2)		☆		2		◎				話の中心に気をつけて、発表を聞き取ることができる。	【思判表】A(1)エ	67.5	
3		(3)		☆		1		◎				話の中心に気をつけて聞き、話し方の工夫を聞き取ることができる。	【思判表】A(1)エ	72.0	
4		(4)		☆		3		◎				話の中心に気をつけて聞き、話し方の工夫を聞き取ることができる。	【思判表】A(1)エ	82.7	
5	2	①		☆	緑			◎		言葉の特徴や使い方	言葉の特徴や使い方	第三学年配当漢字を書くことができる。	【知技】(1)エ	84.8	
6		②		☆	やぶ			◎				第四学年配当漢字を読むことができる。	【知技】(1)エ	87.8	
7		③		☆	けっか			◎				第四学年配当漢字を読むことができる。	【知技】(1)エ	97.8	
8		④		☆	ざんねん			◎				第四学年配当漢字を読むことができる。	【知技】(1)エ	97.0	
9		⑤		☆	短く			◎				第三学年配当漢字を書くことができる。	【知技】(1)エ	51.9	
10		⑥		☆	予定			◎				第三学年配当漢字を書くことができる。	【知技】(1)エ	78.7	
11		⑦		☆	研究			◎				第三学年配当漢字を書くことができる。	【知技】(1)エ	49.0	
12		⑧		☆	つ			◎				第四学年配当漢字を読むことができる。	【知技】(1)エ	95.0	
13	3	(1)		☆		2		◎		言葉の学習	言葉の学習	接続語を理解している。	【知技】(1)カ	85.0	
14		(2)		☆		2		◎				主語について理解している。	【知技】(1)カ	58.7	
15		(3)		☆	おいしい			◎				国語辞典を利用して調べることができる。	【知技】(2)イ	84.7	
16		(4)	①		☆	はがき			◎				ローマ字で書かれた身近な単語を読むことができる。	【知技】(1)ウ	71.6
17		(5)	②		☆		3		◎				身近な単語をローマ字で書くことができる。	【知技】(1)ウ	77.3
18		(6)		☆			4		◎				ことわざを適切に使うことができる。	【知技】(3)イ	74.8
19			☆			1		◎		伝えたい気持ちを適切に言葉で表すことができる。	【知技】(3)イ	70.5			
20	4	(1)		☆		1		◎		物語の内容を読み取る	読むこと	場面の移り変わりに注意して、動作の主体をとらえることができる。	【思判表】C(1)イ	77.0	
21		(2)		☆		3		◎				叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取り、音読することができる。	【思判表】C(1)イ	84.5	
22		(3)		☆			4		◎				叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取ることができる。	【思判表】C(1)イ	76.1
23		(4)		☆			3		◎				叙述をもとに登場人物の性格を読み取ることができる。	【思判表】C(1)エ	89.0
24		(5)		☆			1		◎				叙述をもとに登場人物の気持ちの変化を読み取ることができる。	【思判表】C(1)エ	76.0
25	5	(1)		☆		3		◎		説明文の内容を読み取る	読むこと	文と文の意味のつながりを理解して文章を読むことができる。	【思判表】C(1)ア	70.7	
26		(2)		☆		2		◎				指示語の内容をとらえて文章を読むことができる。	【思判表】C(1)ア	71.7	
27		(3)		☆			【3】		◎				段落相互の関係に注意して文章を読むことができる。	【思判表】C(1)ア	52.1
28			①		☆	たんぼ			◎				文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	【思判表】C(1)ウ	66.4
29		(4)	②		てりつける			◎		文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	【思判表】C(1)ウ	48.9			
30			③		えさを食べる			◎		文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	【思判表】C(1)ウ	79.3			
31	6	(1)		☆		4		◎		書くこと	書くこと	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりできる。	【思判表】B(1)エ	90.9	
32		(2)		☆		3		◎				手紙の後付けを書くことができる。	【思判表】B(2)イ	51.6	
33	7	1		☆		A・Bのどちらかを選択している		◎		書くこと	書くこと	経験したことや想像したことなどから書くことを選ぶことができる。	【思判表】B(1)ア	87.3	
34		2		☆		理由がわかるように、自分の考えを書いている		◎				自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書くことができる。	【思判表】B(1)ウ	59.9	

※解答形式について… 問題が「選択肢問題」、「記述問題」のどちらであるかを☆で表しています。

※いずれも3・4年

比較的良好な状況と考えられる主な設問 4 (2) 叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取り、音読することができる (84.5%)  
 課題があると考えられる主な設問 5 (3) 段落相互の関係に注意して文章を読むことができる (52.1%)

2 経年の変化に注目した問題

書くこと

自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書くことができる

7 2 (報告書P 20 問題P 10 参照)

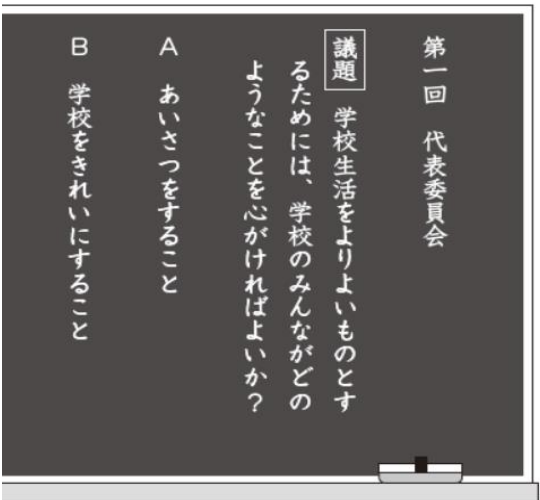
代表委員会では、みんなの学校生活をよりよいものとするために大切なことについて話し合いました。話し合いの中で、〈黒板〉に書かれたA・Bの意見が出されたので、どちらの意見に賛成するか、理由を書いて投票することになりました。  
下の〈注意する点〉にしたがい、投票のための文章を書きましよう。

〈注意する点〉

① 〈黒板〉のA・Bのうち、より大切だと思っ方を一つ選び、記号(A・B)を解答用紙の1の□に書きましよう。

② 書き出しの「なぜなら、」に続けて、選んだことよって学校生活がよりよいものになると思っ理由を、選んだことよさが伝わるように、解答用紙の2に書きましよう。文は二つ以上になってもかまいません。文が二つ以上になるときは、つなぎ言葉にもよく注意ましよう。

③ 解答用紙の2は、三十字以上、五十字以内で、解答用紙の3の文章につながらるように書きましよう。  
(書き出しの言葉や、空らん、や。も一字と数えます。)



正答例

・(なぜなら、) あいさつによっみんなの仲がよくなることよ、楽しい学校になると思っからです。【Aの取組を選んだ場合】

正答条件を満たしてない割合

- (1) 学校生活をよりよくなる上での、選んだことよさが伝わるように書いてない。 4.9%
- (2) 自分の考えを書いてない。 0.8%
- (3) 「なぜなら」にスムーズにつながらるよりに書いてない。 5.4%
- (4) 三十字以上、五十字以内で書いてない。 5.2%

参考：R 2年度 9.6%  
※昨年度も、この条件を満たしてない割合が最も高い。

R 2年度	51.4
-------	------

(参考：昨年度 類似問題の正答率 %)

投票のための文章		
3	2	1
これよ、みんなの学校生活がよりよいものになると思っます。	なぜなら、 答えは、すべて解答用紙に書きましよう。	わたしは、みんなが□を心がけるのがよいと思っます。

正答率 59.9%

3 授業改善に向けて注目した問題

文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができることができる

読むこと

5 (4) ② (報告書 P17 問題 P7～P8 参照)

5 次の文章は、アカテガニというカニについて説明している文章です。これを読んで、下の問題に答えましょう。

アカテガニは、岩手県より南の、海辺にすんでいる、はさみの赤いカニです。【1】

カニは、海にすむ生き物ですが、この、アカテガニは、川をさかのぼって、岸辺から山の上まで、すみかをひろげた陸のカニです。

生きる力の弱いたまごや<sup>※</sup>幼生は、陸では生きていけないので、親ガニがはらにつけて育てます。その幼生が、海

の中で生きていけるようになったとき、山を下って、海にはなします。それは、夏から秋にかけての、満月や新月のころで、このときから、アカテガニの旅が始まるのです。

わたしたちが、海辺で見かけるアカテガニは、調べてみると、いろいろとふしぎなことがあります。【2】

とおり雨がすぎさった海辺を、アカテガニがあるいています。まっ赤なはさみを動かしながら、ゆっくりと、ハマヒルガオのしげみに入っていました。

真夏の太陽が、じりじりとてりつけ、浜のすなが、かわききっているあいだは、あつさをさけて、あなの中にかくれています。

アカテガニは、海辺や、川口に近い<sup>※</sup>湿地や、山の上にあなをほってすんでいる、<sup>※</sup>陸生のカニです。【3】

海辺の村の家のまわりや、たんぼのあたりにもすんでいます。アカテガニは、昼のあいだ、あまりであるきません。

西の海に夕日がしずむころ、アカテガニは動きはじめます。【4】

海辺に近い山の上の、岩のわれめからなんびきもはいだします。深いあなのおくにかくれていたのです。川ぞいの土手のあなからも、石がきのすきまからも、はいだします。アカテガニは、夜のあいだにあるきまわって、えさを食べます。

(種村ひろし『カニ―アカテガニの大旅行―』による)



(4) この文章を読んだ森田さんは、アカテガニについて分かったことを、「アカテガニのふしぎ」として(メモ)にまとめました。(メモ)の中の□にあてはまる言葉を、次の(注意する点)にしたがって書きましょう。

(注意する点)

② イは、□に合う形で五字で書きましょう。

(メモ)

★アカテガニのふしぎ

1 すみか

- ・海辺
- ・川口に近い湿地
- ・山の上
- ・海辺の村の家のまわり
- ・□のあたり

2 活動のようす

- ◎昼のあいだ
- ・太陽がじりじりと□イので、あつさをさけてかくれている。
- ・あまりであるかない。

正答 　てりつける

正答率 48.9%

領域ごとの正答率（【 】内は令和2年度）

数と計算	69.5%	【66.8%】
図形	55.9%	【54.6%】
変化と関係	59.8%	【52.4%】
データの活用	73.6%	【72.2%】

◎算数調査結果の概要

1 出題・観点等一覧

通し番号	大問番号	中間番号	小問番号	解答形式			正答		観点		問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	平均正答率	
				選択	短答	記述	選択式→番号	短答式→言葉	記述式→文章	知識・技能					思考・判断・表現	市全体
1				④	☆		730	◎	○			A 数と計算	小数を、0.01をもとにしていくつ分かで考えることができる	4年A(4)ア(イ)		72.8
2		(1)		⑤	☆		15	◎	○	小数のたし算・ひき算		A 数と計算	小数を、0.01をもとにしていくつ分かで考えることができる	4年A(4)ア(イ)		92.5
3				⑤	☆		745	◎	○	小数のたし算の仕組みを、整数のたし算をもとにして考えることができる		A 数と計算	小数のたし算の仕組みを、整数のたし算をもとにして考えることができる	4年A(4)ア(イ)		72.1
4		(2)		⑥	☆		0.54	◎	◎	小数のしくみ		A 数と計算	数直線上の小数を読み取ることができる	4年A(4)ア(イ)		79.3
5				⑥	☆		0.606	◎	◎	数直線上の小数を読み取ることができる		A 数と計算	数直線上の小数を読み取ることができる	4年A(4)ア(イ)		64.6
6		(1)			☆		8.84	◎	◎	小数のたし算・ひき算		A 数と計算	小数第二位までの加法ができる	4年A(4)ア(ウ)		83.6
7		(2)			☆		29.47	◎	◎	小数のたし算・ひき算		A 数と計算	小数第二位までの減法ができる	4年A(4)ア(ウ)		67.2
8		(3)			☆		23.7	◎	◎	小数と整数のかけ算・わり算		A 数と計算	小数×(1けた)の乗法ができる	4年A(4)ア(エ)		82.6
9		(4)			☆		9.25	◎	◎	(整数)÷(整数)のわり進む除法ができる		A 数と計算	(整数)÷(整数)のわり進む除法ができる	4年A(4)ア(エ)		69.0
10		(5)			☆		52	◎	◎	式と計算		A 数と計算	四則混合計算ができる	4年A(6)ア(ア)		78.1
11		(6)			☆		$6\frac{2}{7}$ または $\frac{44}{7}$	◎	◎	分数のたし算・ひき算		A 数と計算	帯分数を含む同分母分数の加法ができる	4年A(5)ア(イ)		74.6
12		(7)			☆		$2\frac{2}{3}$ または $\frac{8}{3}$	◎	◎	分数のたし算・ひき算		A 数と計算	帯分数を含む同分母分数の減法ができる	4年A(5)ア(イ)		71.5
13	3				☆		6(本できて、)1.2(cmある。)	◎	○	小数と整数のかけ算・わり算		A 数と計算	(小数)÷(1けた)の余りのある除法の適用問題ができる	4年A(4)ア(エ)		52.4
14		(1)			☆		17	◎	○	分数のたし算・ひき算		A 数と計算	分数が単位分数のいくつ分かで表せることがわかる	4年A(5)ア(イ)		72.5
15		(2)			☆		$1\frac{1}{5}$ または $\frac{6}{5}$	◎	◎	分数のたし算・ひき算		A 数と計算	テープ図に示された分数を読み取ることができる	4年A(5)ア(イ)		56.0
16		(3)			☆		$\frac{12}{5}$ (→) $2\frac{1}{5}$ (→) $2$ (→) $\frac{9}{5}$ (→) $1\frac{3}{5}$ (完答) (仮分数を帯分数、帯分数や整数を仮分数にしても、並び順があていれば正解とする。)	◎	◎	分数の大きさ		A 数と計算	分数の大きさがわかり、仮分数・帯分数・整数を大小順に並べることができる	4年A(5)ア(イ)		64.0
17		(1)			☆		ねだん：左から40、120、割合：□ (完答)	○	◎	割合		C 変化と関係	もとにする量と倍の関係を図に表すことができる	4年C(2)ア(イ)		32.3
18		(2)			☆		きゅうりは(120÷40=3で)3倍の値上がりで、レタスは(200÷100=2で)2倍の値上がりだから、きゅうりのほうがより値上がりしたと考えました。	◎	◎	くらべ方		C 変化と関係	割合を用いた比べ方を理解し、正しく説明することができる	4年C(2)ア(イ)		60.8
19	6				☆		53+47 または 100	◎	◎	式と計算		A 数と計算	計算のきまりを理解している	4年A(7)ア(イ)		42.9
20	7				☆		①200+300+500 ②1000(完答 正答は一例)	◎	○	がい数		A 数と計算	概数の表し方を理解し、切り上げの計算をすることができる	4年A(2)ア(イ)		54.7
21		(1)			☆		3	◎	◎	角		B 図形	180° よりも大きい角のおよその大きさを捉えることができる	4年B(5)ア(イ)		70.7
22		(2)			☆		220(度)	◎	◎	角		B 図形	180° よりも大きい角を分度器を用いて求めることができる	4年B(5)ア(イ)		52.1
23		(1)			☆		5×6(=30) または 6×5(=30)	◎	◎	面積		B 図形	長方形の面積を求めることができる	4年B(4)ア(ア)、(イ)		66.8
24		(2)			☆		3	◎	○	面積		B 図形	面積の大きさについての感覚を身につけている	4年B(4)ア(ア)		22.1
25	10				☆		1	◎	◎	垂直・平行と四角形		B 図形	平行四辺形の作図の仕方を性質をもとに考えることができる	4年B(1)ア(イ)		62.0
26		(1)			☆		ア、イ、ウ、オ(順不同、完答)	◎	◎	垂直・平行と四角形		B 図形	向かい合った角の大きさの性質がわかる	4年B(1)ア(イ)		67.1
27		(2)			☆		ウ、オ(順不同、完答)	◎	◎	垂直・平行と四角形		B 図形	四角形の対角線の性質がわかる	4年B(1)ア(イ)		36.6
28		(1)			☆		5	◎	◎	立体		B 図形	立方体になる展開図を判断することができる	4年B(2)ア(イ)		58.1
29		(2)			☆		辺アオ、辺イカ、辺ウキ、辺エク(順不同、完答)(辺の表記の無いものも正解とする。)	◎	◎	立体		B 図形	立方体の面に垂直な辺がわかる	4年B(2)ア(イ)		59.4
30	13				☆		採点用正答用紙参照	◎	◎	面積		B 図形	複合図形の面積を求める式の意味を理解し、図に示すことができる	4年B(4)ア(イ)、イ		63.6
31		(1)			☆		28(こ)	○	◎	変わり方		C 変化と関係	数量の関係を読み、調べることができる	4年C(1)ア(イ)		81.6
32		(2)			☆		○×4(=△)	◎	○	変わり方		C 変化と関係	ともなって変わる二つの数量の関係を式に表すことができる	4年C(1)ア(イ)		64.3
33		(1)			☆		ろう下ですりきずをした人の数	◎	◎	整理のしかた		D データの活用	2次元表を理解し、値を説明することができる	4年D(1)ア(ア)、イ		81.6
34		(2)			☆		2、3(順不同、完答)	○	◎	整理のしかた		D データの活用	表から傾向を読み取ることができる	4年D(1)ア(ア)、イ		65.5

※解答形式について…問題が「選択肢問題」、「短答問題」、「記述問題」のいずれであるかを☆で表しています。

比較的良好な状況と考えられる主な設問 2 (1) 小数第2位までの加法ができる (83.6%) (3) 小数第2位までの乗法ができる (82.6%)  
 課題があると考えられる設問 9 (2) 面積の大きさについての感覚を身につけている (22.1%)

## 2 経年の変化に注目した問題

### 数と計算

小数の加法・減法・乗法ができる。【2】(1)(2)(3)】

(整数) ÷ (整数) のわり進む除法ができる。【2】(4)】

四則混合計算ができる。【2】(5)】

帯分数を含む同分母数分数の減法ができる。【2】(6)(7)】 (報告書 P28 問題 P2 参照)

2 次の計算をしましょう。(4)はわりきれぬまで計算しましょう。

(1)  $5.14 + 3.7$  (2)  $37.9 - 8.43$  ●●

(3)  $7.9 \times 3$  (4)  $37 \div 4$  ●●  
わりきれぬまで計算しましょう。

(5)  $73 - 3 \times 7$  (6)  $1\frac{3}{4} + 2\frac{2}{4}$  ●●

(7)  $3\frac{1}{5} - 1\frac{3}{5}$  ●

(令和3年度)

	正答	正答率
(1)	8.84	83.6
(2)	29.47	67.2
(3)	23.7	82.6
(4)	9.25	69.0
(5)	52	78.1
(6)	$4\frac{1}{4}$	74.6
(7)	$1\frac{3}{5}$	71.5

平均 75.2

(参考；過去3年間 2 正答率)

	R2年度	H31年度	H30年度
(1)	76.2	80.8	79.4
(2)	58.9	60.5	63.1
(3)	81.4	87.5	82.9
(4)	64.1	69.1	65.9
(5)	78.1	83.4	78.8
(6)	71.7	72.9	68.2
(7)	66.4	69.5	63.9

平均 70.9 74.8 71.7

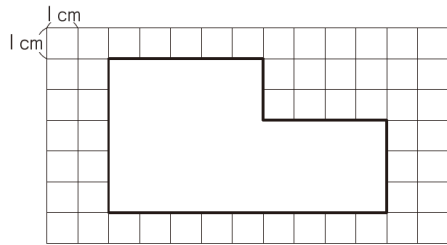
### 3 授業改善に向けて注目した問題

#### 図形

出題のねらい 複合図形の面積を求める意味を理解し、図に表すことができる。

13 (報告書 P44 問題 P13~P14 参照)

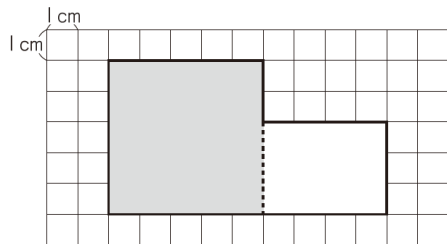
13 ゆみさんとけんたさんは、次の図形の面積の求め方を考えます。



ゆみさんは、次のように計算して求めました。

【ゆみさんの式】

$$\begin{aligned} \underline{5 \times 5} + 3 \times 4 &= 25 + 12 \\ &= 37 \end{aligned} \quad \text{答え } 37\text{cm}^2$$

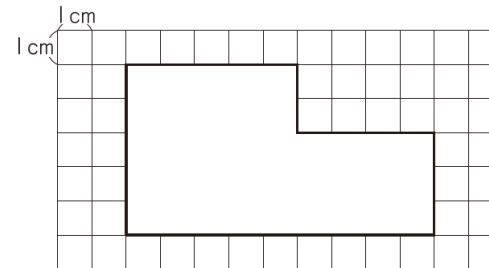


【ゆみさんの式】の中の、 $\underline{5 \times 5}$ は、上の図の色がついた部分の面積を表しています。

けんたさんは、次のように計算して求めました。

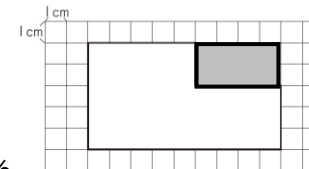
【けんたさんの式】

$$\begin{aligned} 5 \times 9 - \underline{2 \times 4} &= 45 - 8 \\ &= 37 \end{aligned} \quad \text{答え } 37\text{cm}^2$$



【けんたさんの式】の中の、 $\underline{2 \times 4}$ は、上の図のどの部分の面積を表していますか。解答用紙の図に色をつけましょう。

【正答の条件】①該当する部分に正しく色をぬっている。



【正答率】63.6%



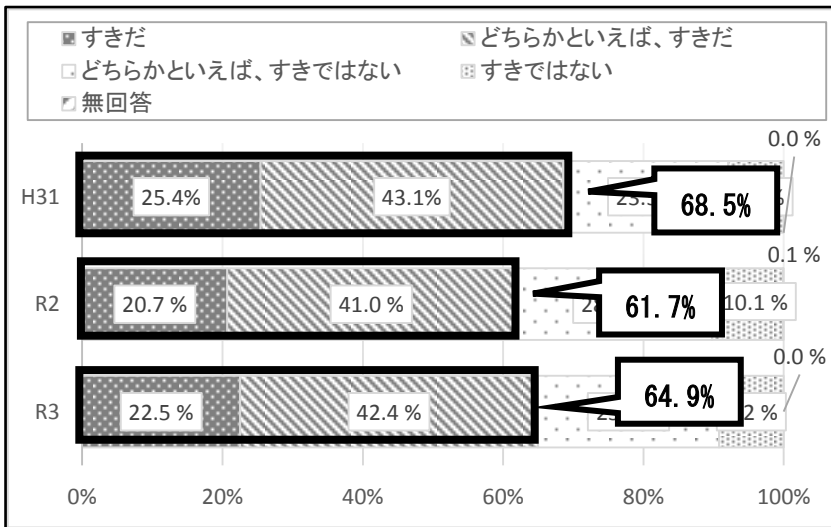
◎ 生活や学習についてのアンケート 過去3年間の経年変化

1 学習全般に対する好感度・必要性・勉強する理由について

(報告書P55 参照)

**好感度**

問2 勉強は、好きですか。

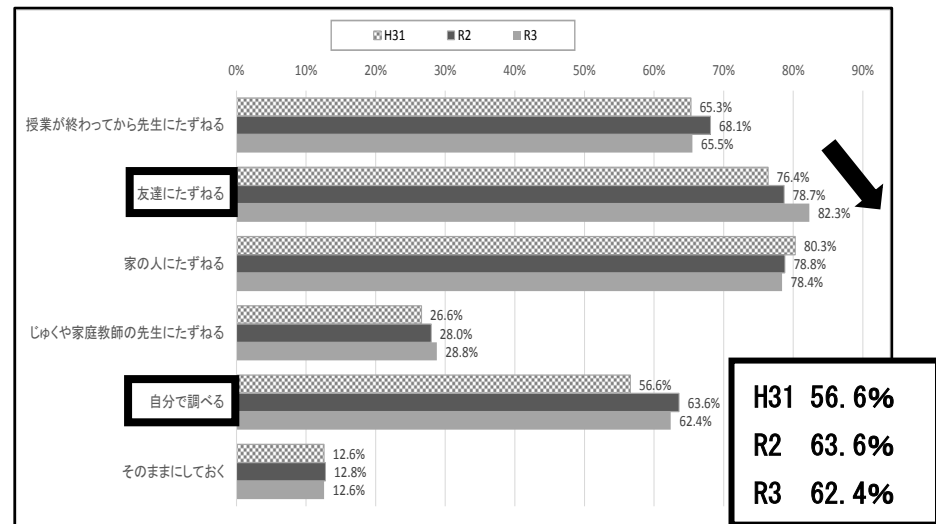


22.5%の児童が、勉強は「好きだ」と回答しており、「どちらかといえば、好きだ」を合わせると64.9%である。R2年度と比較すると、3.2ポイント増加している。

(報告書P57 参照)

**解決方法**

問28~33 授業の中で、わからないことがあったら、どうすることが多いですか



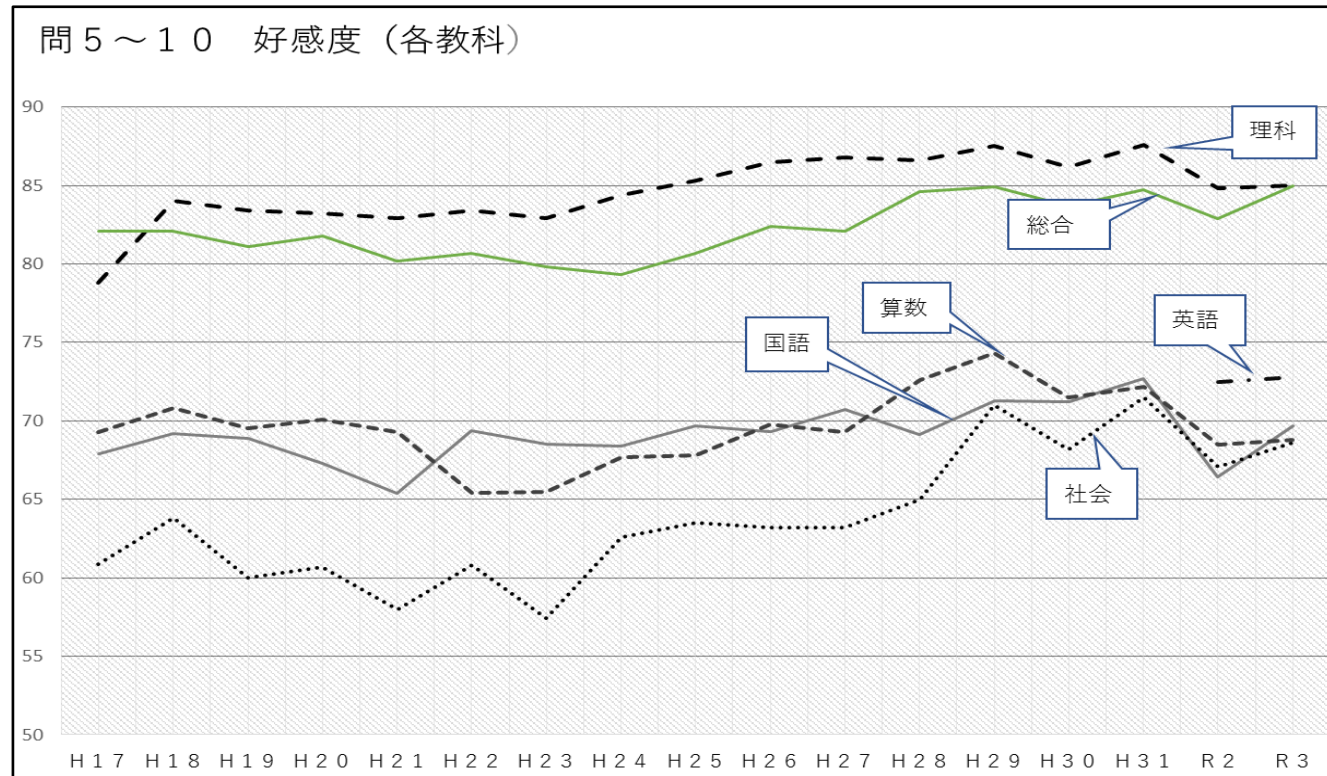
「授業の中で、わからないことがあったら、どうすることが多いですか」に「自分で調べる」と回答した児童が62.4%で、R2年度と比較すると、1.2ポイント減少している。

(報告書 P58 参照) 好感度

問 5 ~ 10 次の授業は、好きですか。

平成 17 年度からの経年変化

国語	H31	72.7%	
	R2	66.4%	-6.3
	R3	69.7%	+3.3
社会	H31	71.5%	
	R2	67.1%	-4.4
	R3	68.6%	+1.5
算数	H31	72.2%	
	R2	68.5%	-3.7
	R3	68.8%	+0.3
理科	H31	87.6%	
	R2	84.8%	-2.8
	R3	85.0%	+0.2
英語	R2	72.5%	
	R3	72.8%	+0.3
総合	H31	84.7%	
	R2	82.9%	-1.8
	R3	85.0%	+2.1



「好きだ」と「どちらかといえば、好きだ」と回答した児童は、すべての教科で増加している。

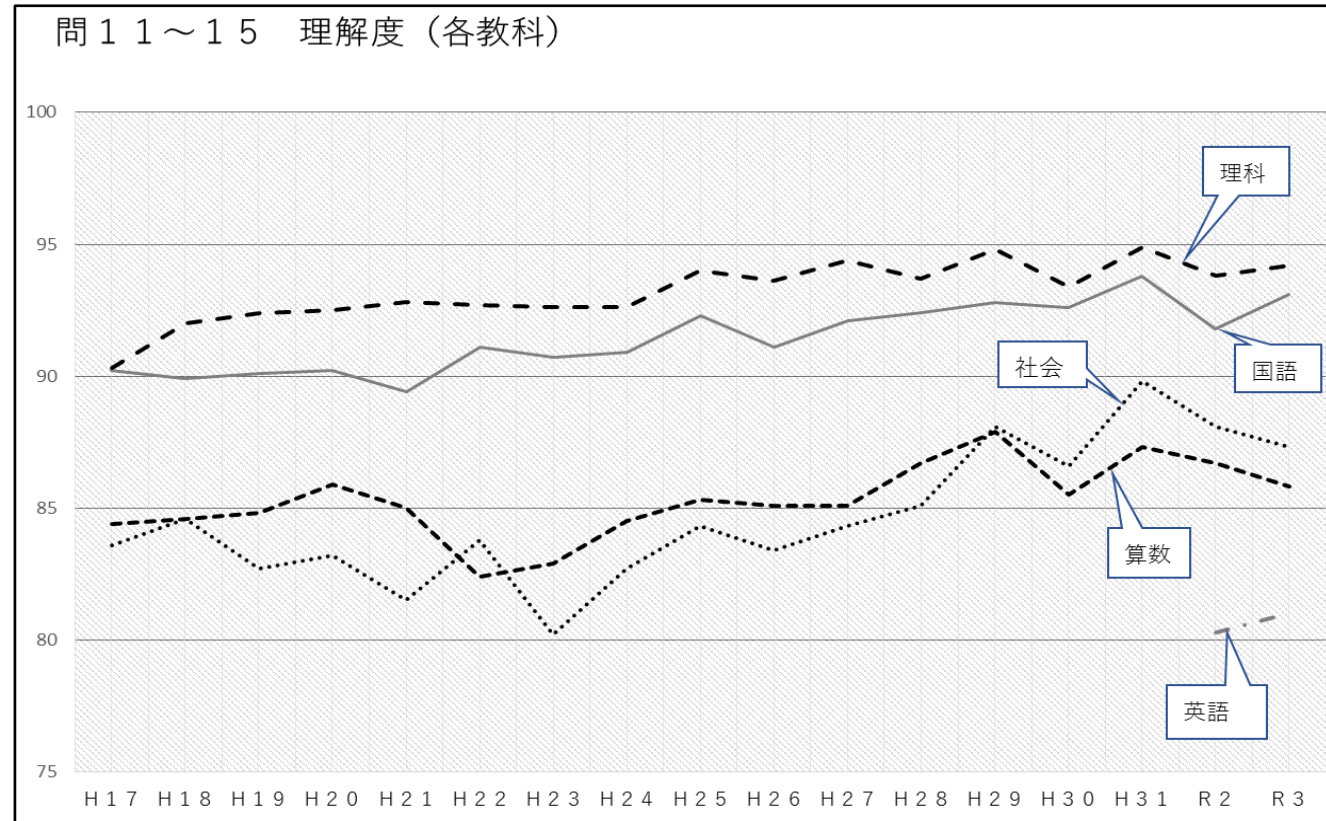
(報告書 P59 参照) **理解度**

問 11～15 次の授業は、よくわかりますか。

平成 17 年度からの経年変化

国語	H31	93.8%		
	R2	91.8%	-2.0	
	R3	93.1%	+1.3	
社会	H31	89.8%		
	R2	88.1%	-1.7	
	R3	87.3%	-0.8	
算数	H31	87.3%		
	R2	86.7%	-0.6	
	R3	85.8%	-0.9	
理科	H31	94.9%		
	R2	93.8%	-1.1	
	R3	94.2%	+0.4	
英語	R2	80.3%		
	R3	81.0%	+0.7	

「わかる」「どちらかといえ  
ば、わかる」と回答した児童  
をR2年度と比較すると、国  
語、理科、英語は増加してい  
る。

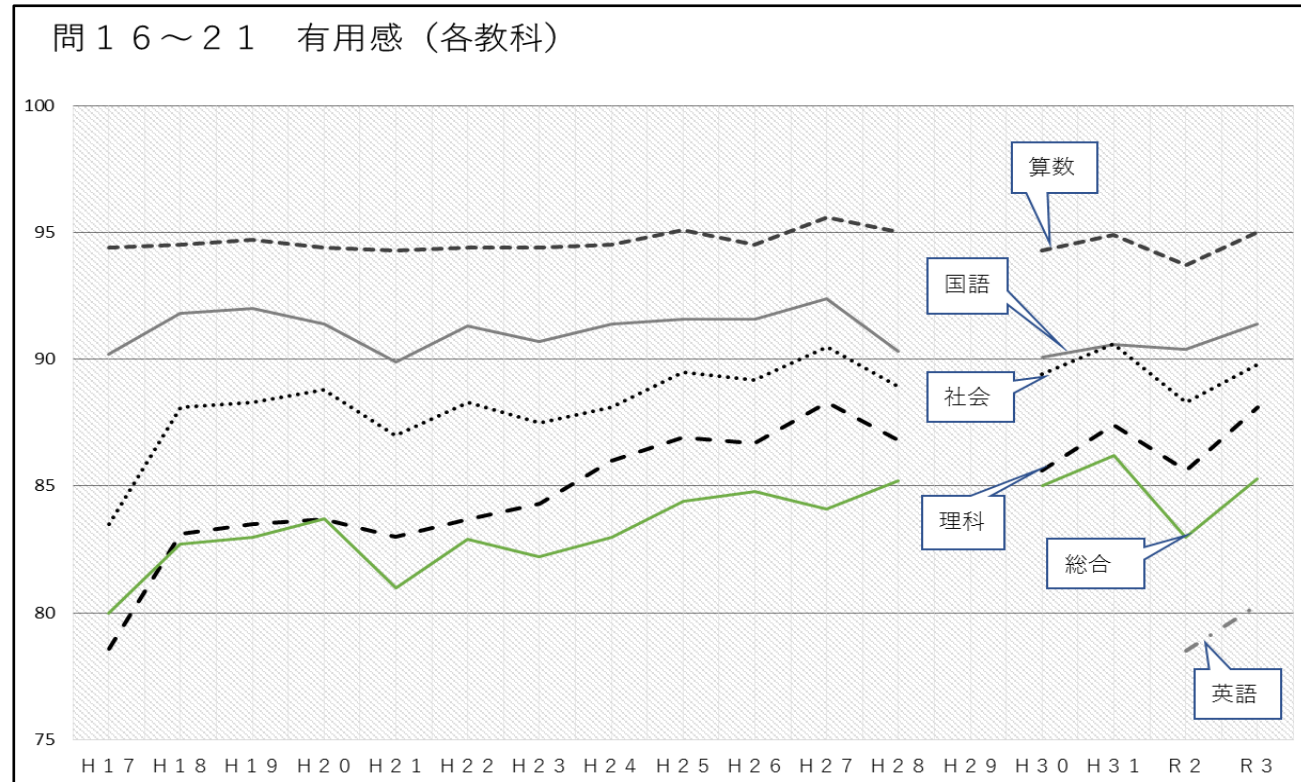


(報告書 P60 参照) 有用感

問 16～21 授業で学んだことは、生活の中で役に立っていると思いますか。

平成 17 年度からの経年変化

国語	H31	90.6%	
	R2	90.4%	-0.2
	R3	91.4%	+1.0
社会	H31	90.6%	
	R2	88.3%	-2.3
	R3	89.8%	+1.5
算数	H31	94.9%	
	R2	93.7%	-1.2
	R3	95.0%	+1.3
理科	H31	87.4%	
	R2	85.6%	-1.8
	R3	88.1%	+2.5
英語	R2	78.5%	
	R3	80.3%	+1.8
	総合	H31	86.2%
R2		83.0%	-2.7
R3		85.3%	+2.3



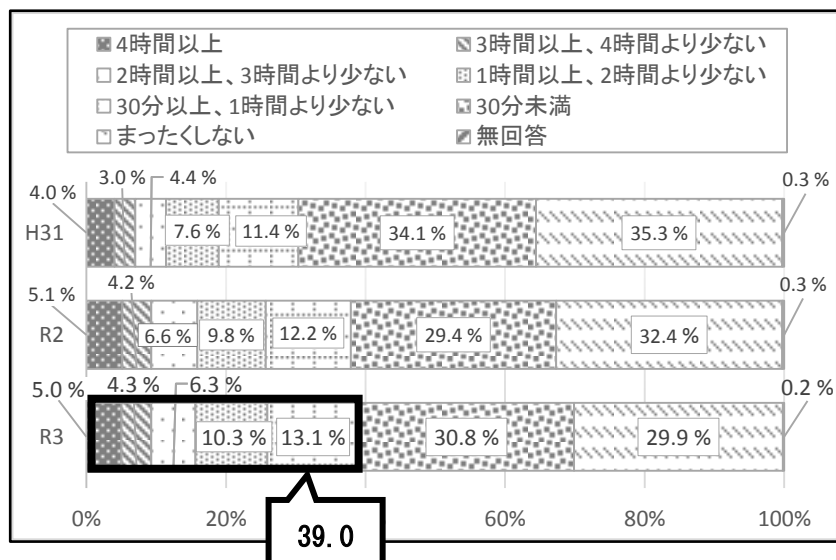
「役に立つ」「どちらかといえば、役に立つ」と回答した児童を R2 年度と比較すると、すべての教科で増加している。

H29 年度は、質問をしていない。

## 2 家庭生活の実態について

(報告書 P65 参照)

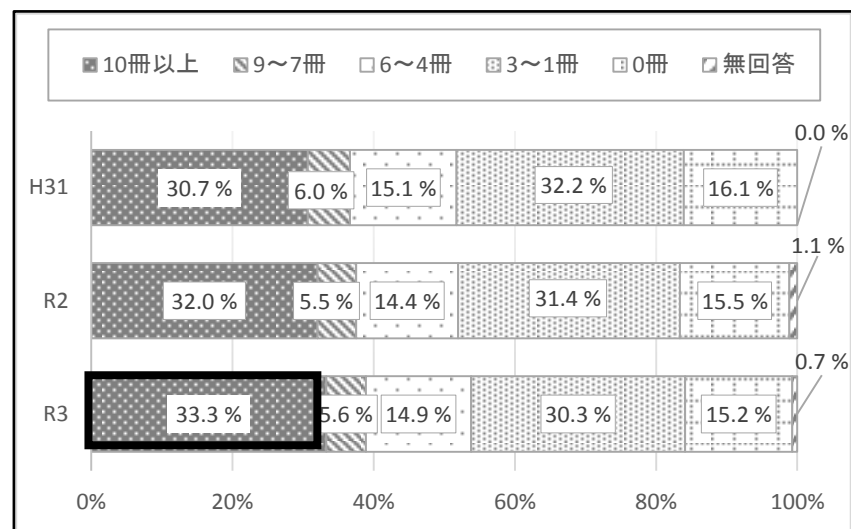
### 問 4 2 携帯電話やスマートフォンの使用時間



携帯電話やスマートフォンを「30分以上使用する」と回答した児童は、39.0%であり、R2年度と比較すると1.1ポイント増加している。

(報告書 P66 参照)

### 問 4 4 1か月の読書量



「月に何冊ぐらい本（マンガ・雑誌をのぞく）を読みますか」に「10冊以上」と回答した児童は33.3%で、R2年度と比較すると1.3ポイント増加した。「3~1冊」と回答した児童は30.3%で、1.1ポイント減少した。

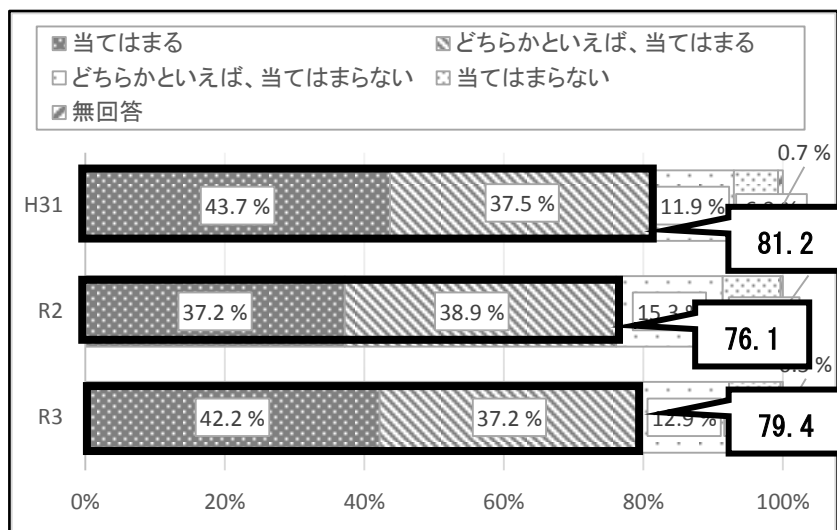
平均冊数は、H31が6冊、R2が6.4冊、R3が7.4冊で、R2年度より1冊増加した。

### 3 自己肯定感・将来に関する意識等について

(報告書 P68 参照)

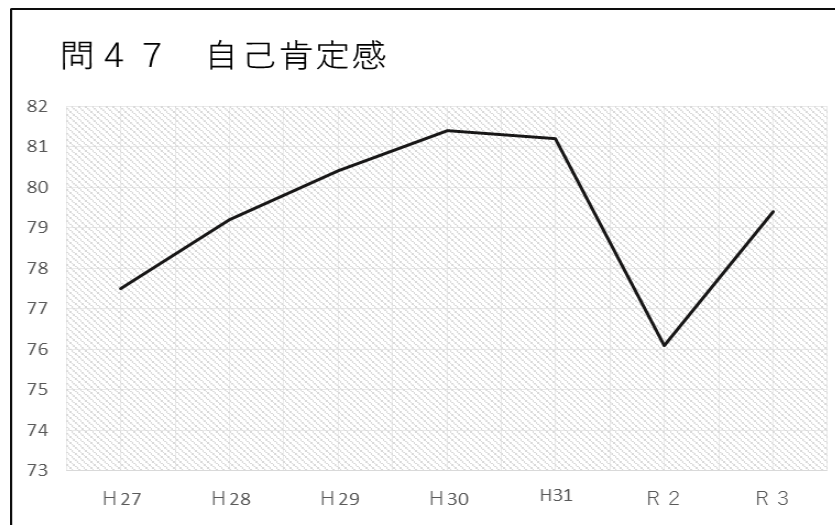
#### 自己肯定感

問 47 自分には、よいところがあると思いますか。



「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した児童の割合は、79.4%で、R2年度より3.3ポイント増加した。

平成 27 年度からの経年変化

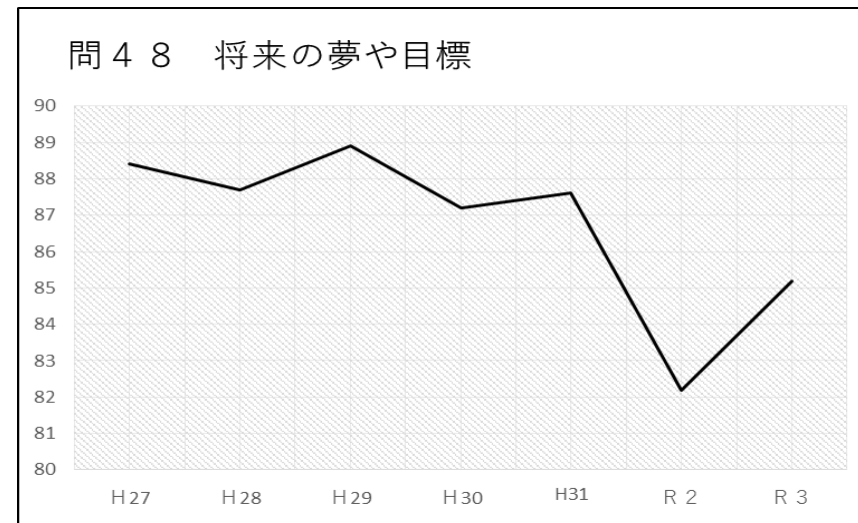
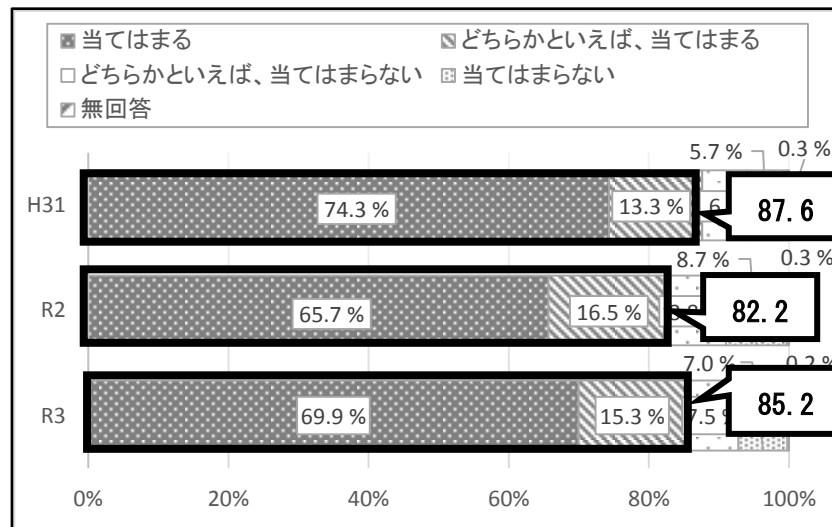


(報告書 P68 参照)

将来に関する意識

問 48 将来の夢や目標を持っていますか。

平成 27 年度からの経年変化

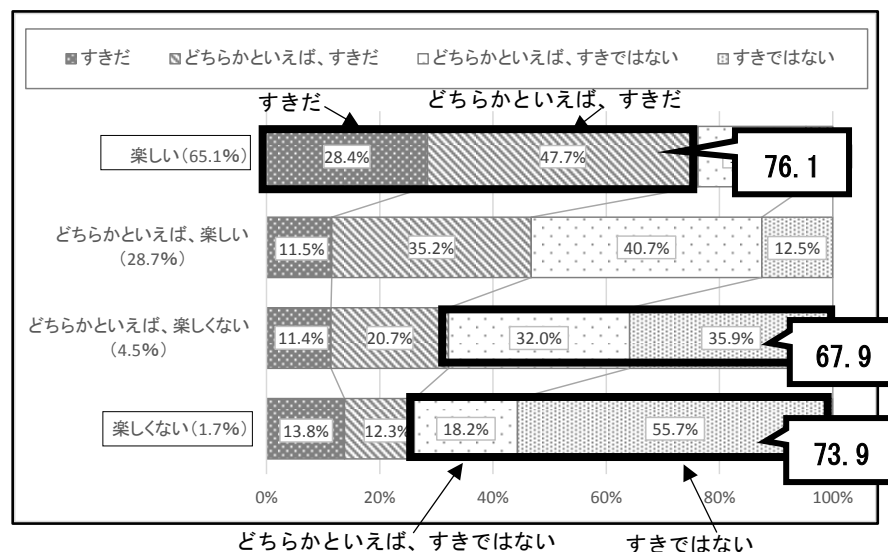


「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した児童の割合は、85.2%で、R2年度より3ポイント増加している。

#### 4 クロス集計結果について

(報告書P74 参照)

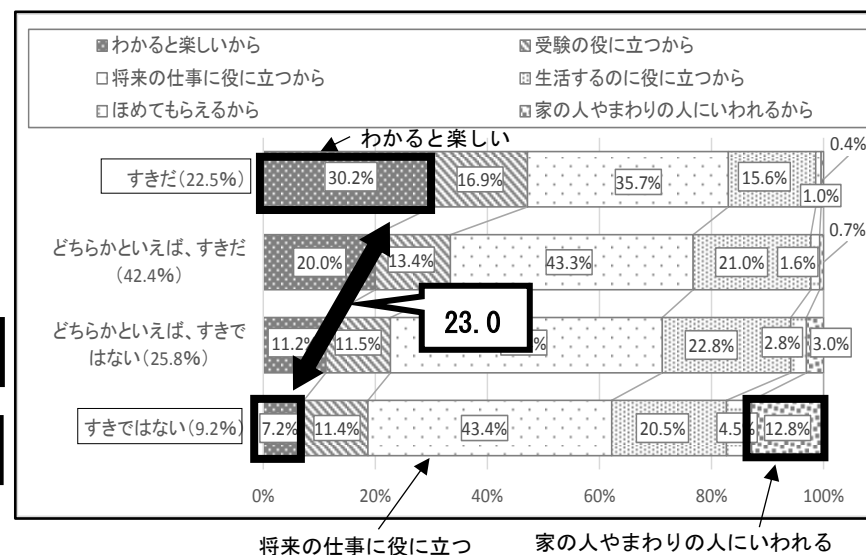
##### 1 学校の楽しさ【問1】×学習に対する好感度【問2】



「学校生活が楽しい」と回答した児童のうち 76.1%は勉強が「好きだ」「どちらかといえば、好きだ」と回答している。学校生活が「楽しくない」と回答した児童の 73.9%、「どちらかといえば楽しくない」と回答した児童の 67.9%は、勉強が「好きではない」「どちらかといえば好きではない」と回答している。

(報告書P75 参照)

##### 3 学習に対する好感度【問2】×勉強する理由【問4】

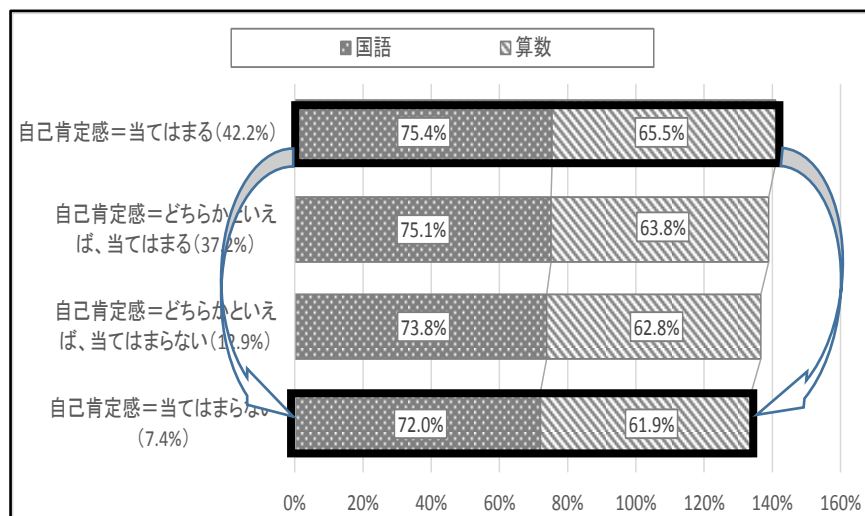


好感度の高い児童ほど「わかると楽しいから」と回答する割合が高い。「好きだ」と回答した児童と「好きではない」と回答した児童とでは 23.0 ポイントの差がある。「好きではない」と回答した児童の 12.8%は「家の人やまわりの人にいわれるから」を一番の理由にあげており、他に比べて割合が多い。



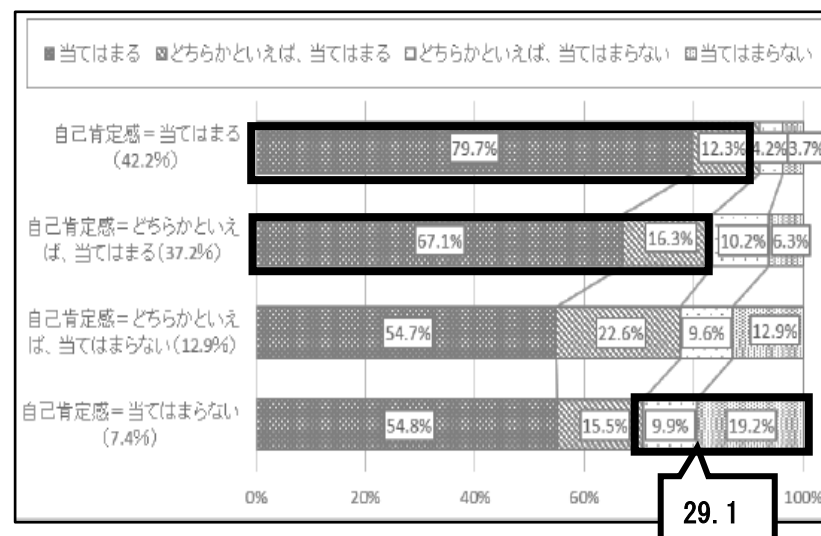
(報告書 P81 参照)

21 自己肯定感【問 47】×国語・算数の正答率



「自分にはよいところがある (あてはまる)」と回答している児童ほど国語・算数の正答率が高い。「当てはまらない」と回答した児童の国語と算数の正答率は、それぞれ 72.0%、61.9%である。

22 自己肯定感【問 47】×将来の夢や目標【問 48】



自己肯定感が比較的高い児童ほど、将来の夢や目標を持っていると回答している割合が高い。「自分には、よいところがあると思わない (当てはまらない)」と回答した児童のうち、夢や目標を「持っていない」「どちらかといえば持っていない」と回答した児童の割合は、29.1%である。

◎ 調査結果の活用

# 川崎市学習状況調査 わかりやすい個票を保護者・児童に提供

児童・保護者に学習状況を伝え、一人一人の課題を明確にし、学習に取り組む態度や家庭学習の改善に役立ってます。

## ■教科別分析

### 国語

#### 観点別到達度チャート

#### 学習アドバイス

「読む」の力は、一通り身につけているようです。力を伸ばすために、もっとたくさん文章を読みましょう。ただ読むのではなく、一つ一つ何を意味しているのか考えながら読むようにしましょう。

「言葉の知しき」の力は一通り身につけているようです。知らない言葉に出会ったら辞書で調べて意味を覚え、覚えた言葉はどんどん使うようにしましょう。

No	観点名	正答数 / 問題数	正答率	正答率グラフ (▼は市内平均)	市内平均正答率
1	話す・聞く能力	4 / 4	100	<div style="width: 100%;"></div>	63
2	書く能力	4 / 6	67	<div style="width: 67%;"></div>	48
3	読む能力	7 / 10	70	<div style="width: 70%;"></div>	60
4	言語についての知識・理解・技能	10 / 14	71	<div style="width: 71%;"></div>	70

No	領域名	正答数 / 問題数	正答率	正答率グラフ (▼は市内平均)	市内平均正答率
1	話す・聞く	4 / 4	100	<div style="width: 100%;"></div>	63
2	書く	4 / 6	67	<div style="width: 67%;"></div>	48
3	読む	7 / 10	70	<div style="width: 70%;"></div>	60
4	言語事項	10 / 14	71	<div style="width: 71%;"></div>	70

国語の授業は、よくわかりますか。

わかる	57.3
どちらかといえば、わかる	35.0
どちらかといえば、わからない	5.9
わからない	1.6
無回答	0.2

算数の授業は、よくわかりますか。

わかる	57.4
どちらかといえば、わかる	29.3
どちらかといえば、わからない	9.9
わからない	3.2
無回答	0.2

**【様々な情報提供】**  
小問別、領域別、観点別に川崎市平均正答率と結果を示しています。

**【意識調査】**  
アンケート調査については、国語、算数について授業の理解度などについて選択肢別の回答率を示しています。

数値は川崎市の全体の割合(%)  
本人の選択は網掛け部分

大問	小問	領域	設問内容	正答率グラフ			全体正答率 (%)	正解
				0%	50%	100%		
		3	読む				78	91
4	1	3	音読のしかた				92	○
4	2	3	動作の主体の読み取り				74	○
4	3	3	気持ちの読み取り				81	○
4	4	3	人物ぞうの読み取り				90	○
4	5	3	気持ちの変化の読み取り				83	○
5	1	3	つなぎ言葉				92	○
5	2	3	指示内よりの読み取り				71	●
5	3	3	文章構成の読み取り				55	○
5	41	3	要点の読み取り				78	○
5	42	3	要点の読み取り				76	○
5	43	3	要約				67	○

【国語】

大問	小問	領域	設問内容	正答率 (%)	正解
4	1	3	音読のしかた	92	○
4	2	3	動作の主体の読み取り	74	○
4	3	3	気持ちの読み取り	81	○
4	4	3	人物ぞうの読み取り	90	○
4	5	3	気持ちの変化の読み取り	83	○
5	1	3	つなぎ言葉	92	○
5	2	3	指示内よりの読み取り	71	●
5	3	3	文章構成の読み取り	55	○
5	41	3	要点の読み取り	78	○
5	42	3	要点の読み取り	76	○
5	43	3	要約	67	○

【算数】

大問	小問	領域	設問内容	正答率 (%)	正解
1	11	1	割合の読み取り	87	○
1	12	1	割合の読み取り	74	○
1	22	1	割合の読み取り	71	○
2	1	1	割合の読み取り	80	○
2	2	1	割合の読み取り	76	○
2	3	1	割合の読み取り	66	○
2	4	1	割合の読み取り	69	○
2	5	1	割合の読み取り	82	○
2	6	1	割合の読み取り	66	○
2	7	1	割合の読み取り	66	○
2	8	1	割合の読み取り	66	○
2	9	1	割合の読み取り	66	○
2	10	1	割合の読み取り	66	○
2	11	1	割合の読み取り	66	○
2	12	1	割合の読み取り	66	○
2	13	1	割合の読み取り	66	○
2	14	1	割合の読み取り	66	○
2	15	1	割合の読み取り	66	○
2	16	1	割合の読み取り	66	○
2	17	1	割合の読み取り	66	○
2	18	1	割合の読み取り	66	○
2	19	1	割合の読み取り	66	○
2	20	1	割合の読み取り	66	○
2	21	1	割合の読み取り	66	○
2	22	1	割合の読み取り	66	○
2	23	1	割合の読み取り	66	○
2	24	1	割合の読み取り	66	○
2	25	1	割合の読み取り	66	○
2	26	1	割合の読み取り	66	○
2	27	1	割合の読み取り	66	○
2	28	1	割合の読み取り	66	○
2	29	1	割合の読み取り	66	○
2	30	1	割合の読み取り	66	○
2	31	1	割合の読み取り	66	○
2	32	1	割合の読み取り	66	○
2	33	1	割合の読み取り	66	○
2	34	1	割合の読み取り	66	○
2	35	1	割合の読み取り	66	○
2	36	1	割合の読み取り	66	○
2	37	1	割合の読み取り	66	○
2	38	1	割合の読み取り	66	○
2	39	1	割合の読み取り	66	○
2	40	1	割合の読み取り	66	○
2	41	1	割合の読み取り	66	○
2	42	1	割合の読み取り	66	○
2	43	1	割合の読み取り	66	○
2	44	1	割合の読み取り	66	○
2	45	1	割合の読み取り	66	○
2	46	1	割合の読み取り	66	○
2	47	1	割合の読み取り	66	○
2	48	1	割合の読み取り	66	○
2	49	1	割合の読み取り	66	○
2	50	1	割合の読み取り	66	○
2	51	1	割合の読み取り	66	○
2	52	1	割合の読み取り	66	○
2	53	1	割合の読み取り	66	○
2	54	1	割合の読み取り	66	○
2	55	1	割合の読み取り	66	○
2	56	1	割合の読み取り	66	○
2	57	1	割合の読み取り	66	○
2	58	1	割合の読み取り	66	○
2	59	1	割合の読み取り	66	○
2	60	1	割合の読み取り	66	○
2	61	1	割合の読み取り	66	○
2	62	1	割合の読み取り	66	○
2	63	1	割合の読み取り	66	○
2	64	1	割合の読み取り	66	○
2	65	1	割合の読み取り	66	○
2	66	1	割合の読み取り	66	○
2	67	1	割合の読み取り	66	○
2	68	1	割合の読み取り	66	○
2	69	1	割合の読み取り	66	○
2	70	1	割合の読み取り	66	○
2	71	1	割合の読み取り	66	○
2	72	1	割合の読み取り	66	○
2	73	1	割合の読み取り	66	○
2	74	1	割合の読み取り	66	○
2	75	1	割合の読み取り	66	○
2	76	1	割合の読み取り	66	○
2	77	1	割合の読み取り	66	○
2	78	1	割合の読み取り	66	○
2	79	1	割合の読み取り	66	○
2	80	1	割合の読み取り	66	○
2	81	1	割合の読み取り	66	○
2	82	1	割合の読み取り	66	○
2	83	1	割合の読み取り	66	○
2	84	1	割合の読み取り	66	○
2	85	1	割合の読み取り	66	○
2	86	1	割合の読み取り	66	○
2	87	1	割合の読み取り	66	○
2	88	1	割合の読み取り	66	○
2	89	1	割合の読み取り	66	○
2	90	1	割合の読み取り	66	○
2	91	1	割合の読み取り	66	○
2	92	1	割合の読み取り	66	○
2	93	1	割合の読み取り	66	○
2	94	1	割合の読み取り	66	○
2	95	1	割合の読み取り	66	○
2	96	1	割合の読み取り	66	○
2	97	1	割合の読み取り	66	○
2	98	1	割合の読み取り	66	○
2	99	1	割合の読み取り	66	○
2	100	1	割合の読み取り	66	○

【わかりやすい提示】  
 分析と解答用紙が上下で示されており、小問ごとに学習状況を確認することができます。

# 川崎市学習状況調査 児童個別振り返りシートを保護者・児童に提供

児童・保護者に学習状況を伝え、一人一人の課題を明確にし、児童それぞれの力にあったフォローアップシートを提供します。

## 児童個別振り返りシート 1411001-001 5年1 算数

### <算数>

#### 1 数と計算

(I) 次の計算をしましょう。答えは1から3の中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

①  $20 + 20 + 2$

②  $25 - 5 \times 3$

③  $2 + 3 \times 4 + 5$

1. 20  
2. 30  
3. 42

1. 10  
2. 23  
3. 60

1. 19  
2. 25  
3. 45

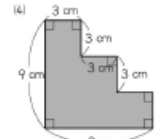
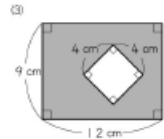
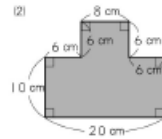
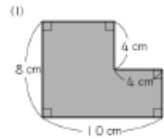
(II) 224 ページの本を、1日に12 ページずつ読みます。全部読み終わるまでに何日かかりますか。式は1から4、答えは1から5の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 式 1.  $224 \div 12$  2.  $224 - 12$   
3.  $224 \times 12$  4.  $224 + 12$

- 答え 1. 18日 2. 19日  
3. 212日 4. 236日  
5. 2688日

#### 2 図形

◆ 次の図形の色のついた部分の面積を求めましょう。



### <算数>

#### 3 変化と関係

◆ 下の図のように、おはじきを正三角形にならべていきます。あとの問いに答えましょう。



(I) 正三角形の大きさとおはじきの数の関係について、表をつくります。下の表のA、イにあてはまる数を書きましょう。

正三角形の大きさ ○ (番め)	1	2	3	4	5	6	
おはじきの数 △ (こ)	3	6	A	12	15	イ	

(II) 正三角形の大きさを○番め、おはじきの数を△こととして、正三角形の大きさとおはじきの数の関係を式に表しましょう。答えは1から3の中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

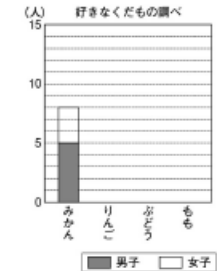
- 1  $\bigcirc + 2 = \triangle$  2  $\bigcirc \times 3 = \triangle$  3  $\triangle \times 3 = \bigcirc$

#### 4 データの活用

◆ 下の表は、1組の全員に『みかん、りんご、ぶどう、もも』の中から好きなくだものアンケートをとり、結果をまとめたものです。あとの問いに答えましょう。

	みかん	りんご	ぶどう	もも
男子	5	7	1	2
女子	3	4	3	5

- (I) 右のぼうグラフを完成させましょう。  
 (II) 1組全体で、りんごが好きなおももが好きなおももは何人ですか。  
 (III) 1組全体で、みかんが好きなおももが好きなおももは何倍ですか。



**【わかりやすい提示】**  
 児童の学習状況をもとに、振り返り問題として領域ごと児童にあったフォローアップ問題が提供されます。(例は算数科のもの)